



テーマ

第248回農林交流センターワークショップ

第534号 発行日:2025年7月28日

農林交流センターニュース

受講者
募集中

食品を対象とした放射能分析

(初級者向け)

コーディネーター：国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構食品研究部門
研究推進部研究推進室 食品連携調整役 八戸 真弓

開催日等

令和7年(2025年)

参加費無料

11月27日[木] ~ 28日[金] ※2日間

場 所：農林水産技術会議事務局 筑波産学連携支援センター（茨城県つくば市観音台2-1-9）

対 象：農作物や食品等を対象とした放射能分析業務従事者及び本業務に関心のある方

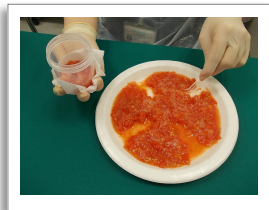
募集人数：10名（全日程に参加することとし、代理の方の参加は認めません。ワークショップ受講後、アンケートにご回答頂きます。）



▲ゲルマニウム半導体検出器

東京電力福島第一原子力発電所事故以降（2011年以降）、農産物を含む食品を対象とした放射性セシウム検査が、食品衛生法のもと、国内の分析機関で継続して実施されています。放射能測定を正しく行うためには、「正確な計測器」、「計測器の正しい使い方」、「測定者の正しい技能」が必要です。

本ワークショップでは、放射能分析実務者を対象に、ゲルマニウム半導体検出器を使用した放射性セシウム測定について、産学官それぞれの放射能分析に携わる専門家による講演や実習（放射能測定・試料充填・不確かさ見積もり）を実施いたします。放射性セシウム測定に必要な基礎的知識から測定現場における実務的技術までを体系化したワークショップとなっており、農産物・食品の放射性セシウム測定を正しく行うための知識や技術を提供いたします。



▲トマトの充填作業

講義と実習の概要

【11月27日(木)】10:30~17:00

【連絡】受講に関するご連絡（ワークショップ事務局員）

【挨拶】諸連絡・試料確認など（農研機構食品研究部門 八戸 真弓）

【講義】放射線、放射能の基礎・概論（近畿大学原子力研究所 山田 崇裕）

【講義】福島県農業総合センターにおける放射能分析の取り組み（福島県農業総合センター 小野 勇治）

【講義】放射能計測における標準物質の利用と技能試験について（産業技術総合研究所 三浦 勉）

【講義】放射能測定精度管理についての福島県の取り組み（福島県環境創造センター 結城 雅弘）

【講義】東京電力福島第一原子力発電所事故に伴う諸外国・地域の輸入規制に関する情報提供（農研機構食品研究部門 鈴木 忠宏）

【11月28日(金)】9:15~16:45

【講義】放射能分析用試料調製方法について（農研機構食品研究部門 八戸 真弓）

【実習】放射能分析用試料調製実習（農研機構食品研究部門 八戸 真弓）

【講義・実習】放射能計測における実務と不確かさの実践（セイコー・イージーアンドジー株式会社 阿部 敬朗／板津 英輔／横山 大輝）

重要

受講される方には実習（放射能測定・試料充填・不確かさ見積もり）のための事前準備を行っていただきます。
受講者決定後に、事前準備に関する実施要領等を送付いたしますので、ご対応いただきますようお願いいたします。

詳細・お申込はこちら

<https://www.affrc.maff.go.jp/tsukuba/top/>



筑波産学連携支援センターのホームページ（上記URLまたは左QRコード）より、お申し込みください。

※ご所属機関で参加希望者を取りまとめて申し込みされる場合は、ホームページより申込書と申込アンケートをダウンロード後、ご所属機関の窓口にご提出いただき、ご所属機関の窓口から koryu7129@maff.go.jp まで送信していただきますようお願いいたします。

申込締切日：令和7年8月28日（木）まで（※選考結果は、9月4日頃メールにてお知らせいたします。）

※本ワークショップは先着順ではなく、コーディネーターによる選考となります。予めご理解の上、お申し込みください。

農林交流センター



人と技術を強くする

お問い合わせ

メールアドレスが新しくなりました（ドメインが@maff.go.jpへ変更になりました）。

農林水産省農林水産技術会議事務局 筑波産学連携支援センター コーディネーション推進課 森田・鈴木・木暮
〒305-8601 茨城県つくば市観音台2-1-9 TEL.029 (838) 7136 E-mail: koryu7129@maff.go.jp